

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 7年 2月 25日

公表: 令和 7年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス MIRAIKU

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	同時に異なる2つ以上の作業をする必要がある場合、部屋を分けて支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	利用者数を確認しながら勤務シフトを調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	利用者の通行の妨げにならないように支援室の配置を意識している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	朝礼の際個人の業務内容や目標を共有し、必要に応じて他の職員から助言をもらうようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者よりいただいたアンケートは直ちに職員で情報を共有し、必要に応じて改善案を検討し、保護者へ連絡するようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	研修は原則参加できるよう勤務シフト調整を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	必要に応じて保護者同意の上検査等を実施し、客観的に分析できるツールを用いながら支援を行なっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	定期的にS-M社会生活能力チェックリストにて評価している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	朝礼やミーティングの場で話し合いを行うことで偏らない支援を心がけている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	月毎にテーマを決め、固定化しないように意識している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	学校休業日にはイベントなどの活動を取り入れて支援内容の工夫をしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	日々の活動を通して子どもの様子を観察し個々の子どもの課題に合わせた支援計画を立てるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼で個別対応が必要な利用者については対応の注意点などを話し合うようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	送りに職員が出てその日中にコミュニケーションが取れない(すれ違いで)時もあるため、翌日の朝礼で情報共有を出来るようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	保護者からの連絡はメモを残したり、HUGのサービス提供記録を活用し、記録を残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	必要に応じてミーティングを開催したり学校連携を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	必要に応じて医療機関連携ができるようにしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	法人が運営する児童発達支援事業所との情報共有を行い、相互理解に努めております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	外部講師を招いて研修を実施している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1	外部のボランティアクラブとの交流を通して機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	保護者面談時に保護者の皆さまへの情報共有をし、支援の質の向上を目指している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	年度2回懇親会を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	お子さまの状況をHUGでのメッセージや送迎の際にお話ししている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報の管理は鍵のかかる書棚で行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0	月に一回パントリー活動を行っている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年度2回の法定消防訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	毎年虐待防止の研修及び「虐待防止ならびに身体拘束適正化検討委員会」を開催しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	職員朝礼の際に情報の共有をしております。	